

上羽角地区古墳・遺跡

■釜田貝塚

時代：縄文

所在地：愛知県西尾市上羽角町釜田4-3

緯度経度：34.884639、137.130361

遺構概要：貝塚、〈現況〉宅地

遺物概要：縄文土器、石器

西尾市の時代的に最も古い遺跡は「釜田貝塚」で、今から6000年前、つまり縄文時代前期のものである。この遺跡は長さ15m、厚さ50mに及んでいる。これは、明らかな集落地であり、この辺では最も早く人が住み始めたと考えられる。貝類は、河口近くでとれるハマグリやサルボウ、カキなどがある。貝が多く堆積していることから、六ツ美南部の低地部分は海であったと考えられる。場所は上羽角町釜田、通称向山(むけやま)丘陵の北西麓、金子忠雄家の屋敷地内。現在はコンクリート壁に覆われ貝塚は見ることが出来ない。同時代の遺物は八ツ面山南麓の新御堂貝塚からも出ている。

■釜田遺跡

時代：縄文

所在地：愛知県西尾市上羽角町釜田5

緯度経度：34.884667、137.131194

遺構概要：包含地、〈現況〉田

遺物概要：縄文土器

■湯田貝塚

時代：古墳/中世細分不明

所在地：愛知県西尾市上羽角町湯田

緯度経度：34.883917、137.129250

遺構概要：包含地。〈現況〉山林

遺物概要：須恵器+土師器+中世陶器

■十念坊(じゅうねんぼう)遺跡

時代：縄文

所在地：愛知県西尾市上羽角町三ノ山

緯度経度：34.882500、137.129944

遺構概要：包含地、〈現況〉山林。関西縄文文化研究会、〈立地〉狭い谷田を見下ろす丘陵上のやや斜面に立地。北西に開放。標高45m。縄文晩期-土器棺か

遺物概要：縄文土器。関西縄文文化研究会、縄文土器(櫻王式)。

発掘概要：1964年牧草地造成時に発見。

■三ノ山古墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町三ノ山

緯度経度：34.885778、137.132222

遺構概要：古墳(円墳)。径12m・高さ3.5m。〈現況〉山林

上羽角町の三ノ山古墳は遺存状況も良好で気軽に見ることができる。三ノ山古墳は薬師山古墳群のある尾根の一つ南の尾根南斜面に単独で存在する円墳で、石室規模でも群中最大の盟主墳である。全長6.9mの石室が開口している。玄室と羨道の境は板石で区切られている。羨門片側の

石も残っているようであるが前部天井は壊失、しかし、他は良好に残っている。玄室は柱石を立てた両袖式、側壁は大小様々な石を巧みに組み合わせ奥壁はほぼ1枚石の巨石である。玄門羨道側上部の構造が少し変わっていて石を左右に渡しているのではなく縦方向に何枚かの石を並べている。



三ノ山古墳



三ノ山古墳



三ノ山古墳

■池下遺跡

時代：古墳/中世細分不明

所在地：愛知県西尾市上羽角町池下

緯度経度：34.889333、137.132778

遺構概要：包含地。〈現況〉宅地

遺物概要：須恵器+土師器+中世陶器

■徳利（とくり）第1号墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町徳利/下羽角町

緯度経度：34.878194、137.135889

遺構概要：古墳（円墳）〈保存状況〉滅失・径9m・高さ1m。〈現況〉工場

遺物概要：管玉+耳環+ガラス製小玉

発掘概要：工場敷地造成

■徳利（とくり）第2号墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町徳利

緯度経度：34.878278、137.136861

遺構概要：古墳（円墳）。1973年調査、〈保存状況〉現地保存、径8m・高さ1m。〈現況〉工場

■徳利（とくり）第3号墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町徳利/下羽角町

緯度経度：34.878750、137.136917

遺構概要：古墳（円墳）。径9m、高さ1m。〈保存状況〉滅失。〈現況〉工場。西尾市報8（古墳-古墳（横穴式石室+外護列石））。

遺物概要：須恵器+土師器+耳環+鉄製品

発掘概要：工場敷地造成

■徳利（とくり）第4号墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町徳利

緯度経度：34.874889、137.136000

遺構概要：古墳（円墳）。〈保存状況〉滅失。〈現況〉工場

■徳利（とくり）第5号墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町徳利

緯度経度：34.877667、137.135250

遺構概要：古墳（円墳）。〈保存状況〉滅失、1970年調査。〈現況〉工場

遺物概要：管玉+金環+鉄鏃+ガラス製玉

■住崎1号墳

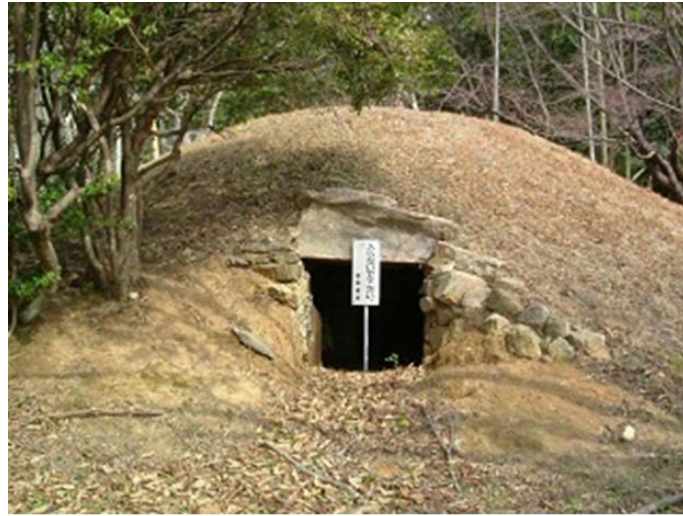
時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町/下羽角町

遺構概要：古墳（横穴式石室）

遺物概要：須恵器+耳環+鉄製品+土師器+灰釉系陶器

羽角山南側に（株）デンソーの西尾製作所がありその西側にある社宅のそばにある教育センターの北側に石室天井部を復元して保存されている。径15mの円墳で全長8mの横穴式石室は柱石で区切られた複室構造になっている。



住崎1号墳



住崎1号墳の石室入口（発掘時）



住崎1号墳の出土品（須恵器）

■高根1号墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町三ノ山/下羽角町（通称高根）

遺構概要：古墳（円墳、横穴式石室+外護列石）。〈保存状況〉滅失、〈現況〉工場

遺物概要：土師器1+須恵器4

発掘概要：工場敷地造成



高根1号墳

住崎1号墳の隣に、消滅した高根支群のうち1、3号墳が移築されている。1号墳は径10mの円墳で、裾には列石が巡っていた。主体部は全長4.7mの横穴式石室で、玄室と羨道は間仕切で区画していた。3号墳は1号墳に隣接していた小円墳で、主体部は全長3mの横穴式石室であったがほとんど崩壊した。

■高根3号墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町三ノ山/下羽角町（通称高根）

遺構概要：古墳（円墳、横穴式石室）、〈保存状況〉滅失、〈現況〉工場

遺物概要：土師器

発掘概要：工場敷地造成

■五釜1号墳

時代：古墳

所在地：愛知県西尾市上羽角町/下羽角町五釜

緯度経度：35.872583、137.130333

遺構概要：〈保存状況〉滅失、〈現況〉工場、古墳（横穴式石室）

遺物概要：耳環2+刀1+須恵器



五釜1号墳



五釜1号墳

消滅した五釜支群のうち、1号墳が西2kmの三和小学校校庭に移築されている。径15mほどの円墳で横穴式石室は全長8.4m、柱石で仕切られた複室構造で天井石（8枚）は奥室のみ残っていた。



本項は以下の資料から引用した。

[六ッ美南部の歴史・文化を紐解く]

著者 岡崎市立六ッ美南部小学校 高須 亮平

発行日 2012（平成24）年3月31日 初版発行

印刷所 ブラザー印刷株式会社

[西尾市史（自然環境・原始古代）1]

編集者：西尾市史編纂委員会

発行者：西尾市

発行日：1973（昭和48）年

[西尾市ホームページ]

<http://www.city.nishio.aichi.jp>

[YAHOOブログ]

<http://blogs.yahoo.co.jp/yasu1832000/14639548.html>

[「遺跡ウォーカーβ」ホームページ]

<http://www.isekiwalker.com>